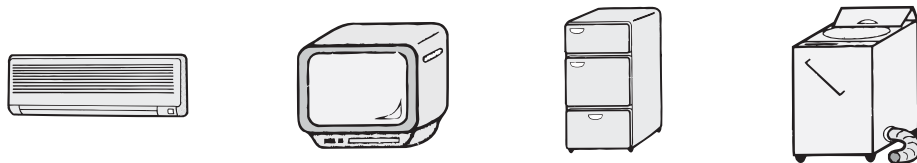


不用になった製品を、 リサイクルによって新しい商品や資源に！



●家電リサイクル法って？＜特定家庭用機器再商品化法＞

資源の有効活用と、クリーンな環境のために、家庭から排出される廃家電4品目（エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機）の有用な資源の再利用を促進し、廃棄物を減らすために家電リサイクル法が誕生（平成13年4月1日施行）しました。

家電リサイクル対象品はごみ集積所に出せません！

次のいずれかの方法で処分してください。

- ①小売店で引き取ってもらう
※家電リサイクル料金等が必要
 - ②自分で指定引き取り場所まで運ぶ
※家電リサイクル料金が必要
 - ③市に収集運搬を依頼する（毎月1回の収集運搬日）
※家電リサイクル料金＋収集運搬料金が必要
- ★パソコン、消火器、自動車・バイク及びその部品（タイヤ、バッテリーなど）、農機具、薬品、危険物等もごみ集積所には出せません。
★詳しくは、ごみ分別名人をご覧ください。

●リサイクル料一覧

対象品名			家電リサイクル料金	市の収集運搬料金
テレビ	画面サイズ	15 型以下	1,785 円／台～	2,900 円
		16 型以上	2,835 円／台～	
エアコン			2,625 円／台～	4,200 円
冷蔵庫	170 ℓ 以下		3,780 円／台～	4,800 円
	171 ℓ 以上		4,830 円／台～	
洗濯機・衣類乾燥機			2,520 円／台～	2,000 円

●最寄りの指定引取場所

- ・日本通運(株)大津支店滋賀自動車営業課（野洲市上屋123-7）☎587-1022、FAX588-0377
搬入時間…午前8時30分～午後5時 ※日曜日・祝日は搬入できません。
- ・(株)ケイロジ草津営業所（草津市駒井沢町字横須198-1）☎568-3003、FAX568-3008
搬入時間…午前9時～午後5時 ※日曜日・祝日、搬入日の正午～午後1時の間は搬入できません。

不法投棄は犯罪です！

不法投棄は重大な犯罪であり、警察とも連携して対処しています。不法投棄した人には、法律により5年以下の懲役または1,000万円以下の罰金が課せられます。

リサイクルが進む一方で廃家電の不法投棄が後を絶ちません。不法投棄物をそのまま放置すると景観が損なわれるだけでなく、しみだした重金属等の有害物質による土壌汚染など地域の生活環境に悪影響を及ぼすことから、不法投棄行為の早期発見と未然防止のため、市では地域のご協力を得て不法投棄監視員の皆さんによる定期的な巡回とクリーンパトロール隊による不法投棄物の回収を行っています。

**不法投棄の早期発見には市民のみなさんの協力が欠かせません。
皆さんの力で美しく住みよいまちにしましょう！**

◆環境課 ☎587-6003、FAX 587-3834



毎月第4土曜は 廃食油回収の日

2月23日(土) 午前10時～正午

回収会場：市役所別館横電話ボックス付近

回収物：廃食油、牛乳パック、アルミ缶

問環境課 ☎587-6003、エコロジーマーケットやすの会・増村 ☎586-1441

※一部メーカーによりリサイクル料金が異なりますので詳しくは下記へお問い合わせください。

《家電リサイクル券センター》

受付時間…午前9時～午後5時
（日曜日・祝日は休み）☎0120-319640、FAX03-3903-7551

歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

歴史民俗博物館

☎587-4410、Fax587-4413

101

【2月の休館日】 月曜日、12日(火) ※11日は祝日開館、市民は入館無料

◆テーマ展「木部天神前古墳と御明田古墳」
／2月2日(土)～3月10日(日)

展示解説…2月2日(土)午後2時～

◆第69回銅鐸研究会／2月9日(土)午後2時～4時
「銅鐸群の変遷からみた製作技術の再検討」青木政幸さん(辰馬考古資料館) ※当日受付・定員120人

◆埴輪作り体験教室「はにわワールドへようこそ!～みて、さわって、つくる～」
①2月16日(土) ②3月2日(土)午後2時～4時
※参加費700円、定員各回20人、電話にて事前申込要

木部天神前古墳のはなし

木部に所在する木部天神前古墳は、市内北部において唯一、地上にその姿を留めている6世紀中葉の円墳です。古墳の現況は、長さ29m、幅17mに区画され、高さ約2.0mの墳丘頂部には、石室の天井石や側石と思われる石材が散乱しています。

京国立博物館の所蔵となっています。

明治31年に石取りを目的として石室内に入り、その際の出土遺物(銅鏡、刀剣、銅鈴、管玉、馬具等)は、現在、東

平成3年度に木部天神前古墳の発掘調査が行われ、この古墳の概要を知ることができるようになりました。古墳の復元径は、約40mと推定され、内部の構造は横穴式です。石室は南側に開き、平面形が長方形の玄室と羨道部は後世に破壊を受けていました。棺を置く玄室は、奥行4.3m、幅2.2mで、3～4段に積まれ

た石材が残っていました。玄室へと導く羨道部は、石材が抜き取られていたために、不明な点が多いですが、長さ6.2m、幅1.3m余りに復元できます。

ところで木部天神前古墳が所在する小字名は、その名前のとおり「天神前」で、古墳西側の小字名は「天神西」です。昭和63年度に県道野洲中主線の発掘調査が行われ、「天神西」の発掘調査箇所からは平安時代の木製鳥居跡が発見されました。鳥居跡には2本の柱根が遺存していました。柱根は直径約50cm程度で、柱間は1・78mと狭く、樹種はクリ材と判明しました。この鳥居は、南側に隣接する木部天神前古墳を御神体とする古代の天神信仰があったと考えられます。

この古墳から出土した遺物には、玄室および羨道部等から馬具、武器、装身具および土器類があります。馬具では鞍金具の部品や杏葉、留金具等、武器では鉄製の矢の先端部と大刀、装身具は銀製の耳

環、水晶小玉、碧玉製管玉とガラス玉、土器類は子持ち台付壺、器台等の大型須恵器と高坏、蓋、壺や埴輪片が見られます。

貴重な遺物が出土したこの古墳の被葬者については、他の古墳の被葬者と同じく明らかではありませんが、野洲川北流が形成した沖積地を基盤とした有力首長墓と考えられ、古墳時代後期において、

琵琶湖に近い立地から湖上交通や河川・港湾にかかわる人物の墓ではないかと考えられます。

銅鐸博物館では2月2日(土)～3月10日(日)、テーマ展「木部天神前古墳と御明田古墳」と題して、両古墳から出土した品々を展示しますので、ぜひご覧ください。

(博物館学芸員 徳網克己)



木部天神前古墳